

農地・水・環境保全向上対策



八木原地区 位置図



組織の活動範囲



八木原地区農地・環境保全協議会

- 平成20年度採択
- 協定農用地面積 48.7ha
(田23.8ha、畑24.9ha)
- 対象農業用施設
開水路 7.0km
ため池 1箇所
農道 35.0km
- 組織構成
○農事支部 ○用水組合
○自治会 ○長寿会
○婦人会
○ボランティア八美会
○更生保護女性会
○子ども育成会

活動内容(計画策定)



年度当初に役員会にて
計画案を作成

総会で承認

平成21年度年間活動計画

八木原地区農地・水路保全協議会

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地												
水路												
農道												
ため池												
その他												

活動内容(点検活動)

農地



水路



ため池



農道

点検記録簿

調査対象地: 八木原地区農地・水路保全協議会
 調査日時: 平成21年 月 日
 調査者: 協議会役員
 調査内容: 農地・水路・農道の点検

項目	内容	担当者	備考
農地			
水路			
農道			
ため池			

活動内容(実践活動)①

遊休農地の確認



地権者に対応を依頼



伐採・除草



農地に復旧

活動内容(実践活動)②

施設周辺の草刈り



水路の泥上げ



ため池の泥上げ



農道の補修



活動内容(実践活動)③

施設の補修(開水路ゲートの塗装)



異常気象後の見回り・応急措置



活動内容(景観形成)①

駅前の遊休地を活用した
「ふれあい花畑」



秋のコスモス



活動内容(景観形成)②

春のチューリップ



秋のサルビア

活動内容(広報活動)

協力組織への活動内容説明



駅の乗降客にPR



八美会の手作り看板

活動内容(学校教育との連携)

古巻小 2年生の野菜作り支援



サツマイモ苗植栽支援



活動による成果と波及効果

成果

- ・遊休農地の状況・確認→地権者へ直接、対応を依頼
⇒ 地域内の遊休農地がほぼ解消
- ・施設の点検・診断を全て自分たちの手で実施
⇒ 施設の状態をより詳細に把握・適切な維持保全
- ・八木原駅前の遊休地を活用した花壇整備
⇒ 地域全体のイメージアップ

波及効果

- ・地域全体が積極的に活動に参加・協力するようになり、農業施設が地域全体の資源として認識されてきた。
- ・花壇で植栽された花の種を回収して周辺住民に配布したところ、地域全体に景観形成の機運が広がっている。

課題

- ・農業者の高齢化に伴い、農地の遊休化は年々加速傾向にある。今後、増加すると思われる不耕作地の復元・活用をいかに進めるか。



ご清聴ありがとう
ございました。